2022 年 2 月 10 日実施
ヤマトホールディングス株式会社

2022 年 3 月期第 3 四半期決算説明会 主な質疑応答（要旨）

Q１　今期業績予想において、下払経費が増加する要因を教えてください。

- 成長が続く EC に対応し、当社の成長を実現するため、第 2 四半期以降、オペレーションプロセスを簡素化した、原価構造の異なる新たなネットワーク（「EC 物流ネットワーク」）を構築しています。
- 第 3 四半期は 12 月のピークシーズンも含めて、宅配便の取扱数量が急増した前期をさらに上回る需要がありましたが、この新たなネットワークの構築を前倒しで進めたことで、サービス品質を維持しながら対応することができました。
- 一方で、EC の荷物を切り離した既存のネットワークにおいては、仕分・輸送オペレーションのコストを適正化していく途上にあり、業務量に対して傭車費や作業委託費などの下払経費が一時的に想定を上回る結果となりました。
- 来期に向けて、今月から新たな執行体制を始動させました。より第一線の現場に近い地域の担当役員に権限と責任を持たせることで、前倒しで構築してきた EC 物流ネットワークと既存のネットワークの管理を一本化し、地域単位での業務量に応じたコントロールを徹底することで、コストの適正化に取り組んでいきます。

Q２　法人顧客に対する営業の進捗状況や今後の見通しについて教えてください。

- 宅配便の取扱数量は、EC 顧客の需要に対応したことなどにより増加しているものの、各地域における法人営業体制の確立が遅れていることなどにより、想定をやや下回りました。
- 今月からの新たな執行体制においては、法人顧客への価値提供の最大化に向けて、これまで通り本部のアカウント責任者によるサプライチェーンソリューションの提供に注力するとともに、各地域のアカウント責任者を明確化し、より強固なリレーションを構築していきます。

Q３　今期の業績予想を踏まえ、中期経営計画の数値目標達成への道筋を教えてください。

- 第 3 四半期は、既存のネットワークにおけるコストの適正化や、法人顧客に対する営業推進に課題を残しましたが、取り組むべき課題は明確になっており、今月始動させた新たな執行体制のもとで、スピード感をもって対応を進めています。
- 本年 4 月に組織改正を行い、「本部」のみならず、お客様により近い「地域」において、事業や第一線の現場を管理するよう仕組みを変更します。これにより、中期経営計画で掲げた数値目標の達成に向けた取組みの実効性を高めてまいります。

以　上